

【医薬品名】抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブリン

【措置内容】以下のように使用上の注意を改めること。

[副作用]の「重大な副作用」の項の間質性肺炎に関する記載を

「間質性肺炎、肺水腫：間質性肺炎、肺水腫があらわれることがあるので、  
観察を十分に行い、発熱、咳嗽、呼吸困難、胸部X線検査異常等  
が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。」

と改める。

参考 企業報告